



2012. 7月発行 No.65

東北森林管理局 藤里森林センター

〒018-3201

秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

Tel 0185-79-1003 Fax 0185-79-1005

eメールアドレス fujisato@rinya.maff.go.jp

白神森林講座

新緑のブナ林を中から上から見つめてみましょう

6月9日(土)今年度ふれあい事業「白神森林講座・新緑のブナ林を中から上から見つめてみましょう」が行われました。

当日は、雨の心配がされましたが、天気にも恵まれ県内から19名の方々が参加されました。みねはま道の駅にて開会式が行われ、佐藤所長より「写真撮影の指導を受けながら、新緑のニツ森の登山を楽しんで下さい。足場の悪い箇所もありますので、怪我の無いよう安全第一でお願いします」と挨拶があり、続いて後藤千春講師の紹介と職員の紹介を行いました。

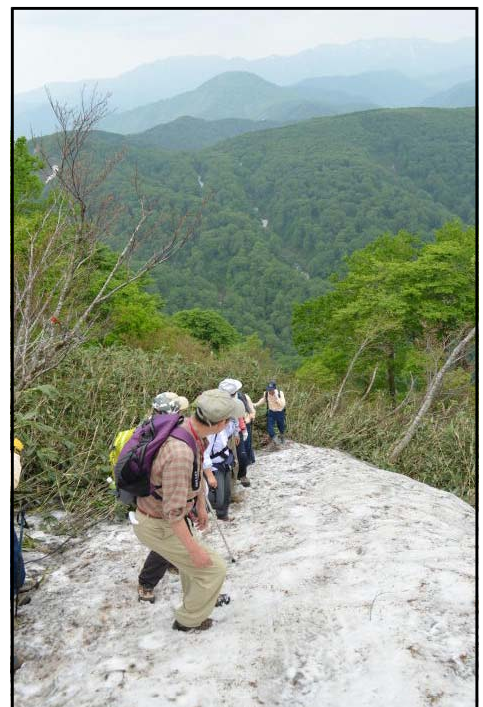
道の駅みねはまを出発し、留山にてブナ林の散策が行われ、後藤講師から樹木の撮影方法についてアドバイスがあり、「中から」のブナ林の撮り方に、皆さん真剣に聞き入っていました。

次に「ぶなっこだらけ」へ移動し、昼食をしながら後藤講師によるカメラ撮影講義が行われ、野外撮影等のコツを学んだ後、足早にニツ森登山口へ移動しました。

ニツ森山頂ではあいにくの曇り空により、山頂からの遠望は望めませんでした。山頂や残雪から見下ろす新緑のブナ林を「上から」楽しみ、参加者の皆さんは思いおもいにシャッターを切っていました。

また、登山道沿いでは、ツバメオモト、マイヅルソウ、チゴユリなどが咲いており、可憐な高山植物の観賞を楽しみました。

参加者からは「とても勉強になりました。出来れば又参加したい」「ガイドさんの案内がとてもわかりやすく、ニツ森では、花を楽しみました」等の言葉をいただき、当センター最初の催しを無事終えることが出来ました。



残雪から望む核心地域(ニツ森)



ブナの巨木にカメラを向けて(留山)

岳岱自然観察会

リフレッシュできました

6月11日（月）に藤里町社会福祉協議会との連携による車いすや杖を使っている方3名を対象に昼食をはさんで岳岱自然観察会を実施しました。

この取り組みは、地元から要望のあったコースが新設となったことから実現したもので、コースはユニバーサルデザインを取り入れたウッドチップによる舗装で、シナノキの巨木を間近で見ることができるようになっています。

当日は、佐藤所長から岳岱の生い立ちやブナ、ホオノキ、ヤチダモや、今咲いている歩道脇の植物（花）について説明を行いながら、400年ブナやシナノキの巨木を眺めながらコースを回りました。

また、社会福祉協議会の方にお願ひし、職員が車いすに乗ったり、押したりして体験をしました。観察会終了後、参加者の皆さんからは、「リフレッシュができた。また誘って下さい」「（杖を使って）大変歩きやすい」等の感想をいただき、今後の業務の参考にしていきたいと考えております。



シナノキの巨木を眺める参加者

岳岱にいらって楽しかったよ

6月15日（金）、藤里町立藤里幼稚園の年長組園児さん19名が、岳岱で森林教室を行いました。みんなで葉っぱのビンゴをしながら、ゆっくり林内を散策しました。ビンゴシートに載っている写真と同じ葉っぱを探しながら、いろいろな形や大きさ、感触があることを学ぶことができました。シナノキ巨木にあった大きな空洞にみんなで入ってみました。5、6人のお友達が一緒に入れるくらい大きなおおきな穴でした。みんなで記念写真！はい、チーズ。

モリアオガエルの池では、モリアオガエルの卵塊やクロサンショウウオの卵、泳いでいるカエルも発見し「いた！いた！」と指をさして池の中をのぞき込んでいました。また、ブナの木に付いている

エゾハルゼミの抜け殻を探して手に取ると、うれしそうに友達と見せ合っていました。

お昼は多目的展示施設でお弁当やおやつをニコニコ笑顔でおいしくいただきました。

お別れの際には「すごく楽しかった」「また来ていい？」などの声を聞くことができ、無事、森林教室を終えました。



カエルいるかなぁ



はい、チーズ